

### 校舎の雨漏りなど、大規模改造事業計画的に

来年度で市内全小中学校の校舎・体育館などの耐震補強工事が完了します。昭和40・50年代の児童生徒の急増期に建設された学校施設の老朽化が進行、今後この改修が必要で、

現状は校舎などの雨漏り、トイレ配管の老朽化からくる悪臭など深刻な状況です。文部科学省の大規模改造事業（築20年以上の建物、補助率1/3）は本市では昭和60年から実施され、残りの対象棟数は101棟にのぼります。事業費は1棟2億円とすると、今後、全部大規模改造で行う場合、200億円が見込まれることが一般質問で明らかになりました。



大規模改造が必要な学校施設を視察

### 住宅耐震改修の補助拡大を検討…市長

もし、本市直下型地震が起これば、家屋の全壊半壊は約2万3千棟と想定されています。阪神淡路大震災での家屋の下敷きになり圧死がされた例をあげ、命を守るためにも住宅やマンションの耐震化の限度額や予算をもっと拡充するべきとせまりました。市長は市民への啓発を強化し、耐震診断・耐震改修補助金の予算拡大も検討したいと答弁しました。

また、地震時の家具転倒による圧死を防止するため、一人暮らしの高齢者や障がい者世帯に対して家具転倒防止金物設置事業を提案。福祉部

長は、高齢者や障がい者は金物の取付けが困難な方もおり支援の必要がある。関係各部と検討すると答弁。鉄筋が入っていないブロックの耐震化についても補助対象にのくように求めました。特に通学路になっている高い塀など地震時には気を付けたいですね。

震災で大きな被害を受けた住宅の様子（5月に宮城県にて撮影）



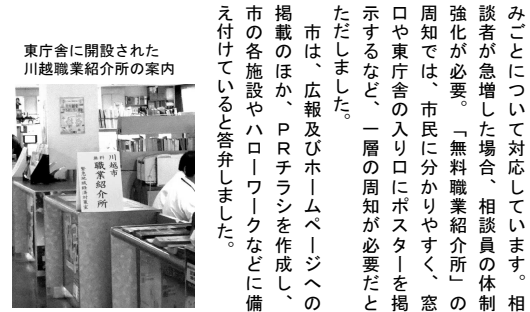
## 学校の大規模修繕・住宅の耐震・雇用・放射能対策 日本共産党議員団の一般質問

### 「無料職業紹介所」の活用で雇用創出を

景気の悪化により、1年間で職を失った非正規労働者は24万7千人にのぼっています。人間らしく働き、生活できる環境が奪われています。

雇用創出のための相談員の増員や市役所内に4つある無料職業紹介所の連携、強化を図るよう求めました。市は、「川越市就労支援対策庁内連絡会議」を設置し、情報交換や今後の取り組みを協議を行い充実に努めていくと答弁しました。

東庁舎内の緊急地域経済対策室にある「無料職業紹介所」の体制は専任の相談員が2名、仕事の探し方や応募書類の書き方など就職活動の悩



東庁舎に開設された川越職業紹介所の案内

### 放射能汚染から市民の健康を守る

原発事故の影響で、震災からの再建が最も遅れているのが福島県です。放射能汚染の広がりが多くの人に不安を広げています。放射線の影響を一番受ける小さな子どもをもつお母さんたちが不安の声をあけています。市の放射能対応を詳細にわたりました。

学校給食などの産地公表を求めたところ、市は検討すると答えました。議会後の10月から、小中学校については、前月使った食材と今月使用予定の食材の産地をホームページで公表するとともに学校からの通知がはじまりました。また、市内の公立保

育園でも産地を知らせる通知が全国でははじまりました。今後は子どもが集まる学校・保育園・公園などで放射線量が高くなりそうな場所に対していかに調べるとも、放射能に対する正しい知識の提供や、市民が調査などをする際の技術的な支援を求めました。



議員団で放射線測定器を購入し、測定した不安のある方はお声かけ下さい

### 本山 修一 議員団長

○文化教育常任委員、○土地開発公社理事、○市政施行90周年記念事業実行委員会委員、○都市計画審議会委員、○農業集落排水施設使用料等審議会委員。鴨田地区に続き、石田本郷地区で来年度供用開始に向け整備中、市長から使用料の諮問が提出され審議中、市民の目録で発言。

○保健福祉常任委員、○農業委員会委員に当選。公園朝市や直売所マップの一部実現。農業の発展のために様々な提案をする。○介護保健事業計画等推進委員会で第5期の計画を策定中。皆さんの声を反映させるよう頑張ります。○放置自転車対策審議会、○社会教育委員協議会、○広報紙編集委員会

### このの英子 議員

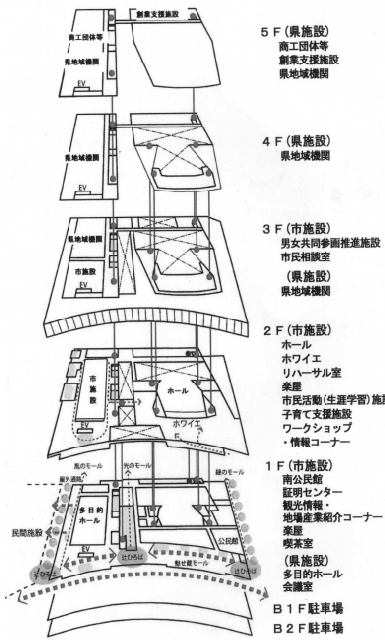
○産業建設常任委員、○社会福祉審議会委員、○環境審議会委員、○図書室委員会委員、○廃棄物減量等推進審議会委員。「家庭ごみの費用負担について」市長から諮問が提出され、「ごみの排出量に応じた手数料を払うことや、他市が行っている指定ゴミ袋の有料化などを参考に審議中。負担軽減のためがんばります。

○総務財政常任副委員長、○議会運営委員会、○川越地区消防組合協議会、○医療問題審議会、国民健康保険運営協議会、○なぐわし公園建設委員会。議会運営委員会では、議会改革に関する論議が行われています。市民に親しみやすく、議会の役割が充分発揮される議会をめざし提案しています。

### かきた有 議員

紙編集委員会  
豊田本1868・1  
TEL 090・9833・0288

### 西部地域振興ふれあい拠点設計概要が公表される



県と市が共同事業で進めている「西部地域振興ふれあい拠点施設」について日本共産党議員団は、以前から拙速な建設をしないよう広く市民の声を聞くこと、市民の税金で建設する施設を見直し、縮小するよう求めてきました。その後、施設のPFI事業が見直され、直接請負方式に変更、施設の中身も使いやすく面積も当初より縮小されています。このほど市長は、設計途中ではありますが、市議会議員に設計の考え方や概要の報告をしました。市民には、11月10日広報でお知らせするとしています。

### 太陽光発電補助を追加計上

#### 9月定例会市議会終わる

9月定例会市議会は1日から開かれ、最終日の22日、平成22年度決算、23年度補正予算など30案件を可決し閉会しました。日本共産党は、市長をはじめ本格的に編成した22年度一般会計決算について、負担増が含まれること、多額の使い残しのお金は市民のために使うべきなど討論を行い反対しました。その他、2特別会

計で反対、証券優遇税制延長を含む専決処分1件と地方税条例改正1件に反対、25案件について賛成しました。また、市議会は自民クラブの三浦邦彦議員に対して、当選後のあいさつ行為など公職選挙法に抵触することを指摘し、説明や対応を求めていましたが、議会で一致で問責決議を提出、可決しました。（自民クラブの3名は退席）